

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震以後に活動が高まった 岩手山の地震活動（2011 年 3 ～ 4 月）＊

Seismicity at Iwatesan Volcano (March - April, 2011)

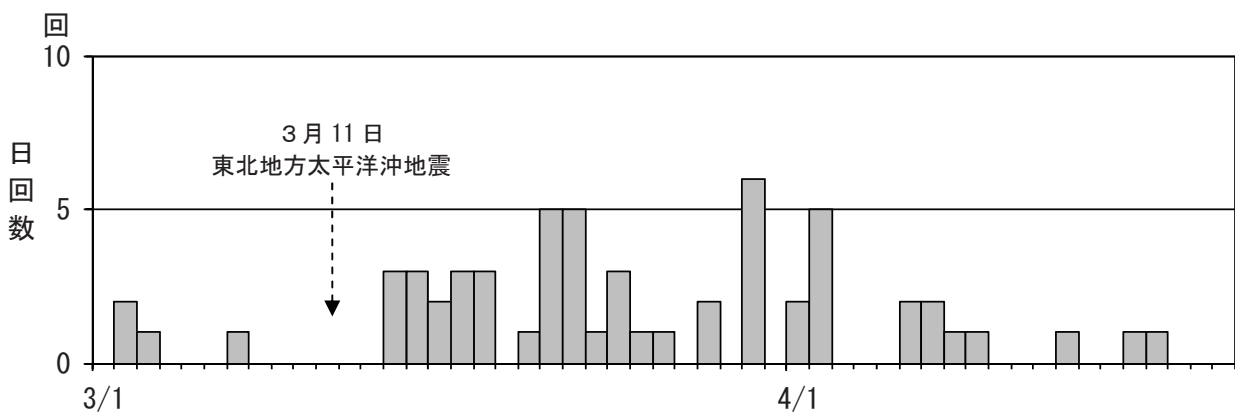
仙台管区气象台火山監視・情報センター
Volcanic Observations and Information Center,
Sendai District Meteorological Observatory, JMA

1. 概要

岩手山では、3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の後、3 月 14 日から規模の小さな地震が若干増加した。ほとんどの地震は山頂の西北西約 10km の松川付近で発生している。4 月 3 日以降地震回数は減少し東北地方太平洋沖地震前の状態に戻っている。この地震活動に伴い岩手山では表面現象や地殻変動に変化は認められなかった。

2. 地震活動の経過

第 1 図に 2011 年 3 月 1 日から 4 月 20 日までの日別地震回数を示す。3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震前は 1 日 0 から数回であったが、地震発生後 3 月 14 日から地震回数が若干増加し、3 月 30 日には 6 回発生した。ほとんどの地震は山頂の西北西約 10km の松川付近で発生している。この領域は、これまでもたびたび地震活動がみられた場所である（第 2 図）。4 月 3 日以降は 1 日 0 回から数回と東北地方太平洋沖地震前の状態に戻っている。

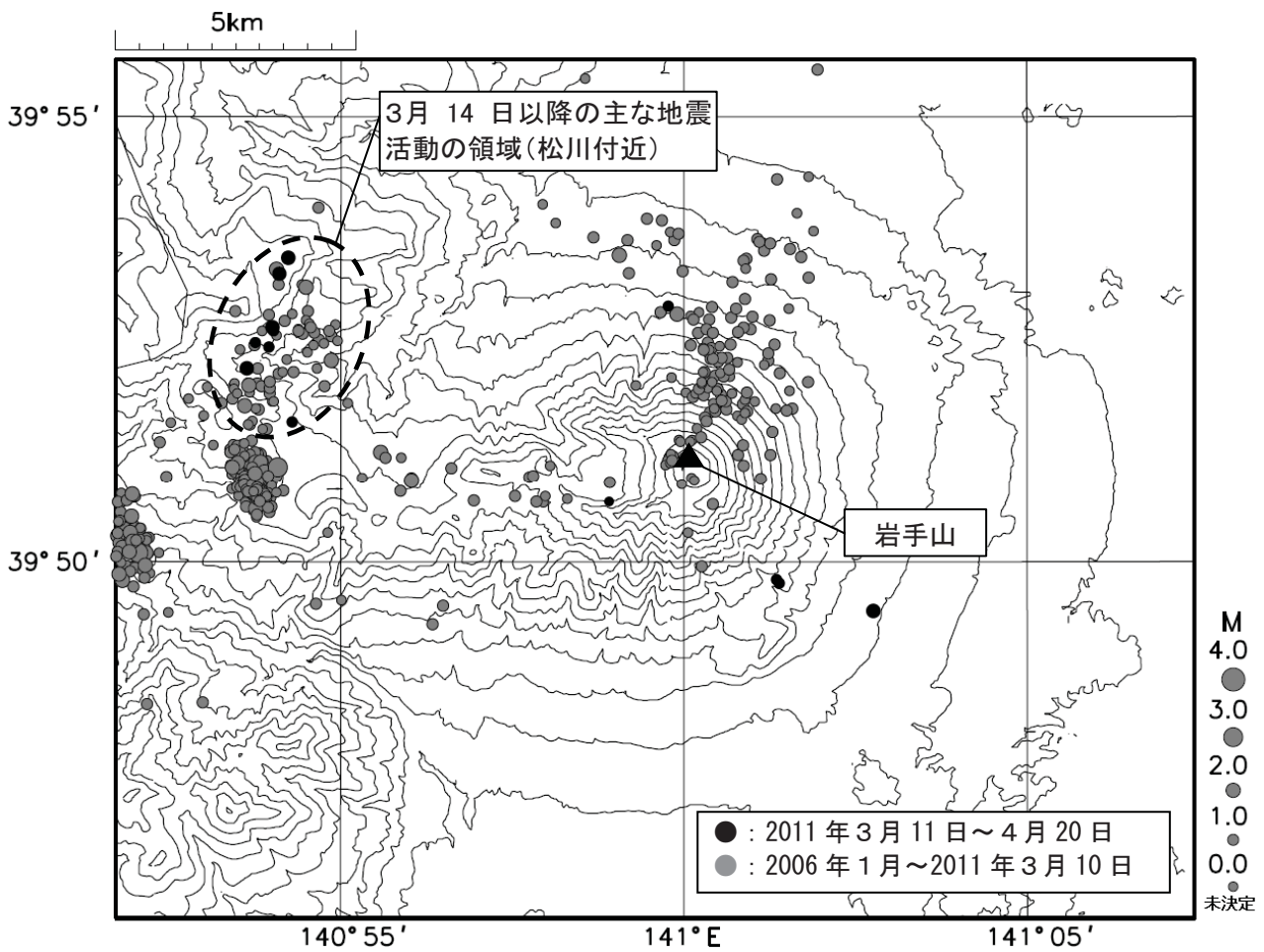


第 1 図 岩手山日別地震回数（2011 年 3 月 1 日～4 月 20 日）
焼切沢の地震計による。
3 月 11～13 日は機器障害により一部欠測の期間がある。

Fig.1 Daily numbers of earthquakes (May 1 – April 20, 2011).

※この資料は気象庁のほか、東北大学のデータを利用して作成した。

＊2011 年 5 月 9 日受付



第 2 図※ 岩手山の地震活動 (2006 年 1 月～2011 年 4 月 20 日)
震源精度の良い地震だけを表示。
速度構造：山頂～姥倉山付近は半無限構造 $V_p=3.0\text{km/s}$ 、その他は成層構造を使用。
この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 50m メッシュ (標高)」を使用した。

Fig.2 Hypocenter distribution at Iwatesan volcano (January, 2006 – April 20, 2011).